

第5回和歌山県福祉事業団福祉セミナー

● 鼎談 (ていだん) 共生社会の実現のために



田島良昭氏 (社会福祉法人南高愛隣会理事)

コロナ一雲仙を開設し、「普通の場所で、普通の暮らしを支えるネットワーク作り」を進め、法律・制度の考案改正に積極的に携わる。1996年から宮城県福祉事業団を預かり、2002年に「施設解体宣言」を発し、障害者自立支援法の体制をつくる。2005年4月～2005年11月までは新・宮城県社会福祉協議会の常務副会長を務める。2006年より厚生労働科学研究の研究代表者に就任し、2009年より「触法・被疑者となった高齢・障害者への支援研究」に取り組み、全国にまだたくさんいる罪を犯した障がい者の更生保護充実に向け、闘志を燃やす日々を送っている。



小林繁市氏 (社会福祉法人北海道社会福祉事業団参与)

1969年開設時の知的障害者総合援護施設「北海道立太陽の園」に児童指導員として奉職。その後授産施設希望ヶ丘学園長、更生施設第一青葉学園長、伊達市地域生活支援センター所長、北海道社会福祉事業団太陽の園総合施設長等を務める。障がいのある人達が普通に暮らせる町づくりや地域福祉のあり方を全国に先駆けて実施し、1994年第一回「N・Eバンクミケルセン記念賞」を受賞。現在、日本知的障害者福祉協会地域支援部会長、グループホーム・ケアホーム等分科会座長を務める。主な著書は「施設を出て町に暮らす」(共著・ぶどう社)等。



惣万佳代子氏 (NPO法人このゆびと一まれ理事長)

富山赤十字病院の看護師として20年間務める(内科病棟に5年間、小児病棟に11年間、内科病棟の呼吸器内科に4年間)。富山赤十字病院を退職し、仲間と退職金を資金にデイケアハウス「このゆびと一まれ」を創設。従来、存在しなかった小規模多機能型の「富山型福祉サービス」の先駆者として、主導的な立場を担い全国的な広がりに先鞭をつける。主な著書は「笑顔の大家族このゆびと一まれ - 「富山型」デイサービスの日々」や「創る 介護の実践 共に支え合うちから (シリーズ 介護の世界)」。

● シンポジウム 労働を考える



津田兼司氏 (株式会社 サンライズ) 企業関係者



崎中誠氏 (株式会社 松源) 企業関係者



井上幸司氏 (株式会社 ファーストリテイリング) 企業関係者



澤村将人 (和歌山県福祉事業団サポートセンターゆう所長)



日時 平成22年10月23日(土)
13:10～17:15 (12:30から受付開始)

会場 和歌山県立情報交流センターBig U
(和歌山県田辺市新庄町3353-9)

定員 300名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加費 1,000円

★手話通訳者を配置しています
※TEL・FAXにて受け付けています



協賛
和歌山県福祉事業団職員労働組合
後援
和歌山県、田辺市、和歌山県知的障害者施設協会、(福)和歌山県社会福祉協議会、(福)田辺市社会福祉協議会、(株)ニュース和歌山、(株)テレビ和歌山、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、紀伊民報、(社)日本自閉症協会和歌山支部、和歌山県市長会、和歌山県町村会、(株)ファーストリテイリング、(株)松源、(株)オークワ、(株)サンライズ
順不同

お問い合わせ先 和歌山県福祉事業団 本部
 〒649-2102 和歌山県西牟婁郡上富田町岩田2456-1
 TEL 0739-47-6640 FAX 0739-47-6645
 URL <http://www.wfj.or.jp> (ホームページ) <http://ameblo.jp/wfj/> (ブログ)



ブログのQRコード



和歌山県福祉事業団